

## 第 2 回 倉 渕 地 域 審 議 会

### 倉 渕 地 域 の 事 業 推 進 状 況 に 係 る 質 疑

事 業 名	No.	質 疑	回 答
小栗の里整備事業	1	国道406号側の鐘楼を建設する意味と必要性についてお聞きしたい。 この鐘楼は登ることができるのか、また、看板設置の有無についてもお聞きしたい。	くらぶち小栗の里は蔵造りをイメージして建設されるが、その和風の建物に合った鐘楼を、国道406号を通過する車両へのサインとして建設する。 鐘楼は登ることはできない。道の駅の看板については設置予定である。
	2	屋上デッキの塗装等維持管理はどのように行われるのか。 屋上デッキで飲食は可能なのか、また、椅子等を設置するのか。	屋上デッキは倉渕産の杉を利用している。塗装サイクルは、概ね3～5年位になる。デッキ材への塗装は、浸透型の腐食防止剤を使用している。 屋上デッキは飲食可能であり、屋外用のテーブルやイスを用意し、イベント等を開催する場合であっても内容によっては使用可能とする。
	3	先日、支所の駐車場が満車であった。道の駅完成後は駐車場利用者増加が見込まれるので、新たな駐車スペースを確保したほうがよいと思うが、予定はあるのか。	より多くの市民や観光客に利用していただくために支所及び農協、商工会、森林組合で調整を図る。また、オープン後の状況を確認しながら諸々検討する。
	4	なるべく皆が利用しやすいスペースを確保して欲しい。	<b>【要望】</b>
	5	道の駅の調理室は、今までどおり公民館利用団体の使用が可能か。 また、2階ホールについて、道の駅利用者と公民館利用者の予約が重複した場合の対応を考えているのか。	1階の作業室、展示室、2階の調理室と多目的ホールを一般貸し出し用とし、通常の利用であれば料金は生じない。 施設は公共施設であり、市民が平等に使用できるように利用日の数ヶ月前から予約できるよう調整する予定である。
	6	10億円近い巨費を投じる本事業であるが、この施設は主に誰に利用していただき、どのような社会的意義を担うのか。	地域住民の様々な活動拠点として使っていただくことを大いに期待している。施設は道の駅の指定を受けるが、このことにより農林業等地域の様々な産業の活性化に繋げたい。 地域の拠点にあっていただくことも期待でき、また、観光等で他の地域から来た人に倉渕を紹介することで、倉渕の観光を始めとした産業の発展につなげて行きたい。 この施設は、産業の活性化や地域の拠点機能等総合的観点から建設される施設であり、料金は地域の方が使用する場合は無料で、また、地域外の方には低価格にて活用いただきたいと考えている。

小栗の里整備事業	7	小栗の里は現在のところ、ターゲットが明確でない。完成まで半年を切ったが、もう一度原点に帰ってターゲットやコンセプトを地域づくりと絡めて明確に定めていただきたい。	小栗の里は地域情報を発信する基地であると考えている。倉洲の自然や産業、小栗公の顕彰も含め、倉洲の情報を手に入れてそこから倉洲の色々な所へ行けるよう案内することができる拠点と捉えている。
	8	私の知る限り情報発信の仕組みや内容の整理ができていない状況であると思う。半年のうちに情報発信等ができるようお願いしたい。	【要望】

## その他の質疑

内容区分	No.	質 疑	回 答
世代間交流について	1	現在、「倉洲長寿ふれあいのつどい」に劇団を招待している。世代間交流の一環として中学生に見せてはどうか。	倉洲長寿ふれあいのつどいは倉洲地区社会福祉協議会が市から補助を受け、敬老事業として実施している。世代間交流としての中学生への演劇鑑賞については、倉洲地区社協と相談して状況が整えば中学校に働きかけたい。
			学校には教育委員会の指示や他校の例がないと実行しないという体質がある。地域の催しに率先して参加することについての判断は学校でできることであり、生徒に見せる価値があると判断すれば、区長等と相談していただきたい。
川浦後沢の残土置場について	1	川浦の後沢の残土置場に樹木がはびこり、熊、鹿、イノシシ、タヌキ等に荒らされるがままとまっている。草刈り等をしてもらうことはできるのか。	後沢残土処理場は、北陸新幹線秋間トンネル工事による残土処理場として15年以上にわたり活用されないまま現在に至っている。 野生動物の棲家になっているということであるが、手が入らない、人が入らないことが原因であると思う。 近隣の方々の生産意欲の減退につながってしまうので、草刈り作業を行う等の対応をしたいと考えている。
	2	後沢の状況はたいへんひどいので、一度草を刈ってもらえれば、その後は自分達で刈ることができるのではないかと思います。	湯ヶ沢ホテルの里へ視察に行った際、倉洲地域の方が寒い時期にイノシシの侵入防止柵を設置していたのを見て頭の下がる思いがした。原材料費は補助金であるが、人件費は基本的にボランティアであると知った。 有害鳥獣対策として猟友会による駆除もあるが、他にも対策がないかを検討する。今年度から竹やぶの整備に助成金を出すことにしたが申請は多い。補助金は、ボランティア活動に対するお礼として考えて欲しい。

倉渚グラウンドの施設について	1	<p>ここ数年で倉渚グラウンドの夜間照明の電球が多数切れ、競技を行うのに薄暗く、危険を感じながら利用している。また、照明設備も設置以来20年程経過し、老朽化が進んでいる。</p> <p>地域住民の健康増進や事故防止のために早急な改修が必要と思われる。対応は可能か。</p>	<p>市内には倉渚グラウンドをはじめ多くの夜間照明付き屋外体育施設があり、多くの皆さんに利用いただいている。</p> <p>倉渚グラウンドの夜間照明については現在切れている電球の交換を早急に進めたいと考えている。</p> <p>今後の体育施設の整備については、市内施設の優先順位を見極めながら計画的に進めて行きたいと考えている。</p>
	2	<p>冬場は暗くなるのが早く、照明を使う機会が多くなる。子ども達がサッカーや野球でグラウンドを使うので、事故が起こる前に早めに改修を行って欲しい。</p>	<p>計測したところ照度にばらつきがあることが判明した。今後、照度の均一化を図り、子どもをはじめ利用者が安全にスポーツを楽しめるよう電球の交換から進めたいと考えている。</p>
	3	<p>施設の老朽化が進んでいる。施設自体の交換も考えて欲しい。</p>	<p>市内スポーツ施設の多くは昭和60年代に完成し、雨漏り等様々な老朽化が生じている。必要な所から改修や整備を進めたい。</p>
森林の荒廃と再生可能エネルギーについて	1	<p>市として倉渚地域の森林荒廃の現状をどのように把握しているのか。</p> <p>また、木質バイオマス等の森林資源を活かした再生可能エネルギーについてどのように考えているのか。</p>	<p>木材価格は長期的下落傾向にある。</p> <p>林業就業者数の長期的減少や高齢化等により十分な森林整備が行われず、間伐等手入れが不足した森林が見られるようになった。</p> <p>市としても間伐や下刈りなどを支援し、森林の適切な管理に努めたいと考えている。</p> <p>木質バイオマス等の再生可能エネルギーには環境面で優れていることから注目が集まっている。しかし、間伐材等の利用は、収集・運搬に多大な費用を要し、化石燃料等のエネルギーに比べコストがかかることが最大の課題となる。今後は、その活用推進を図るため、関係機関と協議しながら研究したいと考えている。</p>
	2	<p>倉渚地域は面積の86%が山林であり、山林資源が豊富な場所である。木質バイオマスは、県内では東吾妻町に続き、みなかみ町でも3,000坪の木質バイオマスの発電所が建設されるとの新聞報道があった。また、中之条町でも、間伐材による発電の実用化研究の調査を開始し、中之条町長も町の8割を占める森林の活用をしない手はない、近い将来実現させたいと意気込んでいる。現在、県内で自治体が直接取り組んでいるケースはないが、検討を始めている自治体は複数ある。倉渚の森林を資源と捉え、森林の整備等新たな雇用創出や新たな産業としての木質バイオマスというものを検討していただきたい。</p> <p>また、直接自治体が行わずとも、倉渚町三ノ倉で敷地面積約3,000坪の太陽誘電閉鎖工場が売りに出されているが、地域活性化のために地元企業と市長さんのご人脈を活かして企業の誘致を進</p>	<p>再生エネルギーについては、風力発電に適切な場所が高崎に1箇所しかない等限定的なものが多い。</p> <p>小水力発電も現在のところ大きな発電を得られていないが、研究テーマとしてこれからの時代に大切なので検討していく。</p>

<p>森林の荒廃と再生可能エネルギーについて</p>		<p>めることも考えていただきたい。</p> <p>木が育って森が育まれるのは世代を越えた長い時間が必要である。今、経済性がないという理由で、このままの状態では放置しては、今の子ども達やこれからこの地で生まれてくる子々孫々に申し訳ないと感じている。</p> <p>第5次総合計画の中でも、倉渕地域は自然との共生エリアと言う位置づけであるが、本当の意味で木と言う自然を大事にして自然と共に生きる地域を目指してはいかか。</p>	
<p>美州カントリー倶楽部跡地におけるメガソーラー事業について</p>	<p>1</p>	<p>本事業でサッカー場が1面整備されるとのことだが、出入口がどこになり、どのようなグラウンドで、また、付帯設備は何があるのか。</p>	<p>現在、事業者による詳細な現地調査が行われ、この結果により詳細な設計を行う予定である。</p> <p>この実施計画がまとまり次第説明したいと考えている。</p>
	<p>2</p>	<p>大会や合宿等の利用を考えるのであれば、人工芝のグラウンドがよいと思う。地元のはまゆう山荘、相間川温泉と連携してスポーツ合宿ができるような地域を目指していくのも地域活性化に繋がるのではないかと思う。</p> <p>本施設は、地元のサッカー関係者も大いに期待している。情報公開や要望のヒヤリング等を行なっていただきたい。</p>	<p>現在、地震対策で校舎の改修を平成27年度までに完了する必要がある、教育関係予算をそこに注ぎ込んでおり、その中でその他スポーツ施設の建設等をやり繰りしている。</p> <p>スポーツ施設については、高崎の課題は認識している。</p>
<p>地域おこし協力隊について</p>	<p>1</p>	<p>総務省主管の「地域おこし協力隊」は全国204市町村で実施され、若者たちが地元で根付くことでの地域力アップに貢献していると聞いている。</p> <p>市としてはどのように考えているか。</p>	<p>市内にも地域おこし、町おこし、ボランティア、町内会、商店街等、総務省の協力がなくても十分な活動がある。町おこしを一生懸命にやっている青年や高齢者はたくさんいるのもっと支援したい。</p> <p>期限付きの補助は期限後にどう対応すればよいかという問題もあるので別の地域おこしをしていきたいが、趣旨は大事であると思う。</p>
	<p>2</p>	<p>倉渕では、ふるさと住宅や道の駅等ハード事業はよく目に付くが、ソフト面が進んでいないと感じている。</p> <p>行政と地元住民で力を合わせて地域活性化を図りたい。</p>	<p><b>【要望】</b></p>
<p>過疎問題について</p>	<p>1</p>	<p>倉渕の最大の課題は過疎化であるが、マスコミが取り上げてくれるくらいの対策を考案していただきたい。戻る人が家を建てたら固定資産税を10年間免除する等の対応をしていただきたい。</p> <p>大きな企業を誘致するための目に見えるメリットを打ち出し、高崎市が全国で初めてという考えを出して欲しい。</p> <p>市は駅周辺の一極集中で周辺は人が減っている。市全体として人口流出に歯止めがかかっているのか、その辺りを今後の課題として考えていただきたい。</p>	<p>住宅等の建設はできるが、問題は市内に空き家が多数存在することである。空き家に若い夫婦が住まいを設けた場合は優遇措置をし、また、倉渕に住まいを設けた場合は優遇措置をする等の対策は考えられる。</p> <p>空き家になっている理由を一つずつ潰していくということは考えていくべきことであるがなかなか難しい。現金を支給するのは避け、それ以外にやることがあるか研究したい。</p>